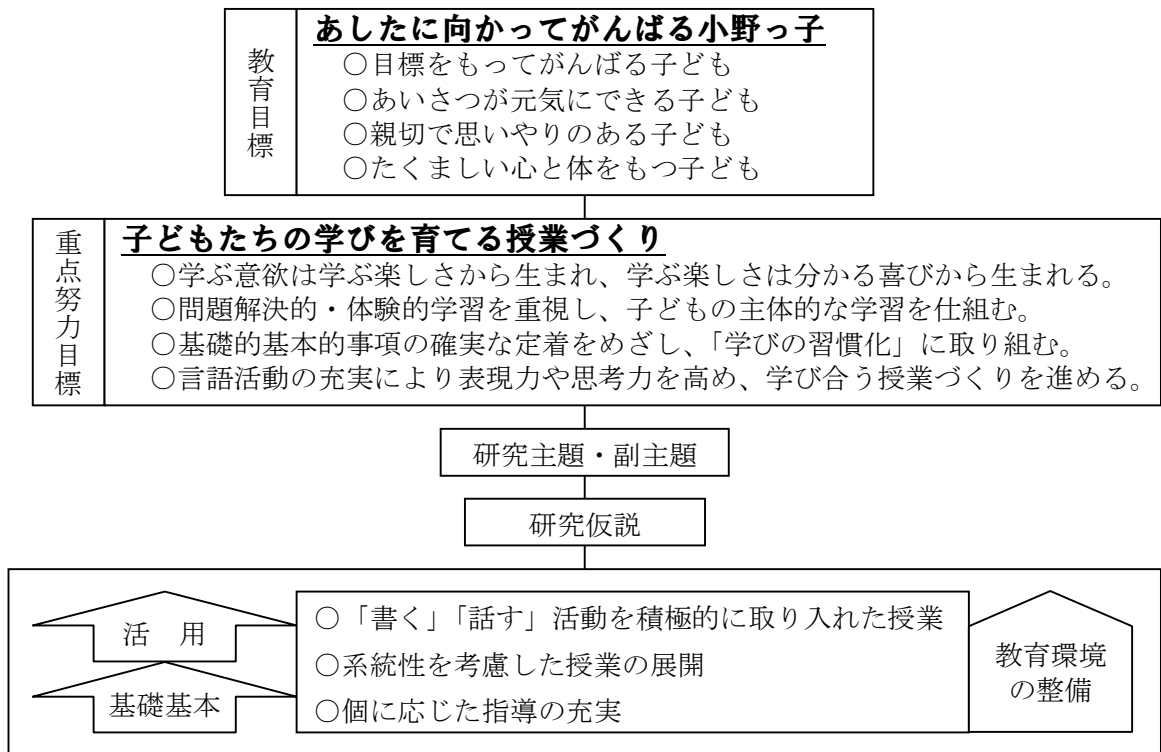


平成22年度 諫早市立小野小学校 校内研究(計画)

1 全体構想



2 研究主題・副主題

生き生きと言語活動に取り組む子どもの育成
 ～自分の考えを互いに伝え合う授業づくりを求めて～

3 主題設定の理由

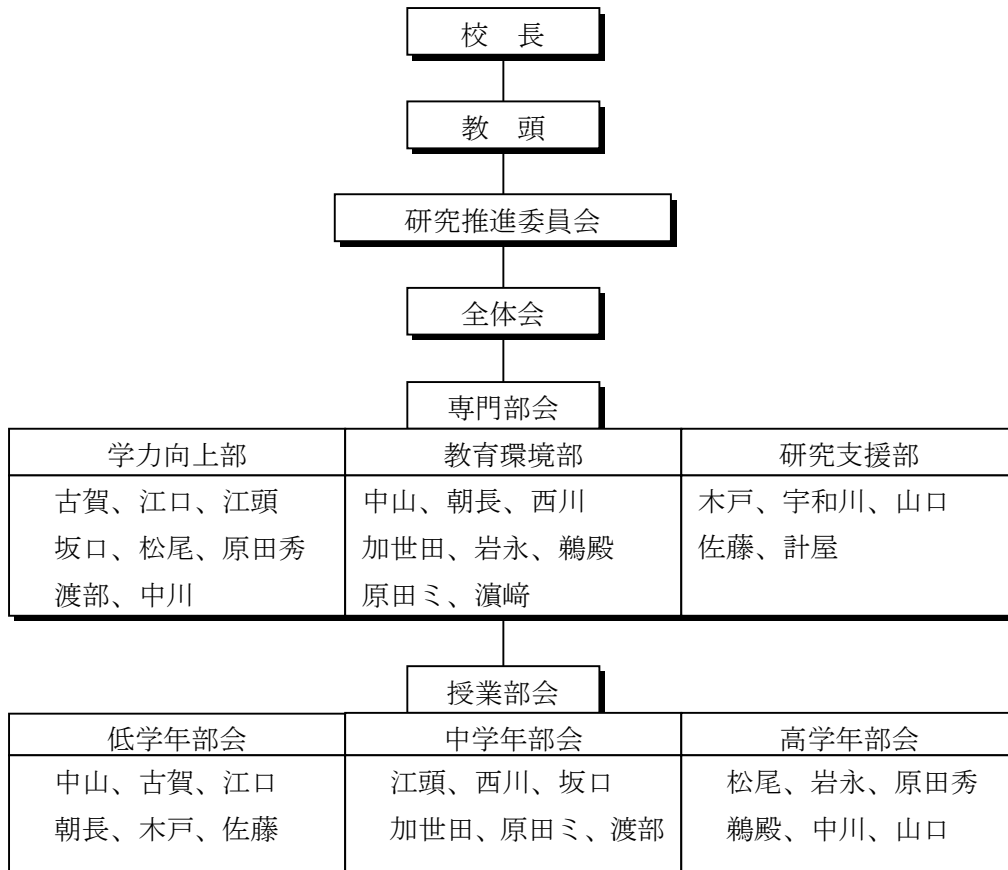
平成23年度から完全実施となる新学習指導要領には、「言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、児童の言語活動を充実させること。」とある。これは、主体的に学習に取り組む態度の育成および個性を生かす教育の充実、思考力、判断力、表現力等の育成がねらいである。

昨年度までの3年間、本校では教育課程『二期制の在り方』について研究を行い、その中で「学びの連続性を生かしたきめ細かな学習指導」で児童の基礎的・基本的な学力の定着を図ってきた。その結果、年々基礎学力の向上は見られたものの、活用力の面では全国平均・県平均と比べて十分な結果を残すことができていない。その原因の一つとして挙げられるのが、児童の言語力・表現力の低下である。これまで本校では、授業の中に開き合い（自分の考えを伝え合う）の場を設定して、表現力の育成に取り組んできた。今後は、その活動を基盤に据え、さらに論理的に考えを述べたり、共有した考えをもとによりよい考えへと高めたりできるように言語活動を充実させ、児童に思考力、判断力、表現力を育みたいという理由から本主題を設定した。

4 研究仮説

国語科・算数科の学習指導を中心に据え、問題解決的学習の過程の中に考えを書く活動や互いに考えを伝え合う活動（開き合い）などの言語活動を位置づければ、適切な言語を用いて自己表現する力がつき、意欲的に言語活動に取り組む子どもが育つであろう。

5 研究組織



【専門部会】

学力向上部

- 学力テスト等を通じた児童の実態の分析
- 児童の実態に対する学力向上に向けての対応策の立案

教育環境部

- 学力向上に向けた校内の環境整備
- 音読集会等、表現力の向上に向けた集会等の運営

研究支援部

- 各部会の活動支援

【授業部会】

- 各部会で全体授業1回、部会授業を3回行う。

6 年間活動計画

月	日	曜	会	内容
4	5	月	研推	○本年度の研究計画について
5	6	木	全体会	○本年度の研究計画について（提案）
	27	木	〃	○研究主題・副主題・仮設について（共通理解）
6	3	木	全・部	○研究組織の編成 ○各専門部の研究計画立案
	10	木	部会	○各専門部の研究計画立案
	24	木	全体会	○診断テスト・サマースクール・保護者面談・学力テスト等の年間予定の確認 ○保護者面談資料の作成について（共通理解）
7	1	木	全体会	○各専門部の研究計画（共通理解）
	16	金	〃	○6年1組研究授業（提案授業）
	21	水	〃	○提案授業研究協議
	29	木	〃	○特別支援教育講演会
8	19	木	〃	○外国語活動伝達講習会
	20	金	〃	○メンタルヘルス研修会
	31	火	研推	○7月までの研究の進捗状況と9月からの研究計画について
9	9	木	全体会	○9月からの研究計画（共通理解）
	16	木	部会	○各専門部の取組 ・学力…発達段階における開き合いの仕方 ・環境…音読集会の準備、掲示物等の作成
10	8	金	〃	○各専門部の取組 ・学力…学力分析（H22 全国学力および H21 教研式学力） ・環境…掲示物等の作成
	14	木	全・部	○各専門部からの取組報告（共通理解） ○教材研究等研究授業の準備
11	4	木	部会	○教材研究等研究授業の準備
	11	木	全体会	○指導案検討会
	25	木	〃	○全体授業（低学年）および研究協議
12	9	木	部会	○各専門部の取組 ・学力…発達段階に応じた開き合いの仕方の見直し 学力分析（県基礎学力調査） ・環境…掲示物等の作成
	15	水	〃	○教材研究等研究授業の準備
	24	金	研推	○12月までの校内研の進捗状況 ○1月からの研究計画
1	11	火	研推	○12月までの研究の進捗状況と1月からの研究計画について
	13	木	全体会	○指導案検討会（要請指導に向けて）
2	10	木	部会	○教材研究等研究授業の準備
	16	水	全体会	○要請指導（中学年全体授業）
	24	木	部会	○今年度の反省
3	3	木	研推	○次年度に向けて
	25	金	全体会	○今年度の反省と次年度に向けて（共通理解）

※上記の日程以外に、部会授業及び研究協議や出張報告が入る予定。

※夏季休業中に研究授業準備、英語活用研修、PC研修等を行う。